難民の友に、難民と共に

アルペ通信

2021年7月

No.2

NPO法人 アルペなんみんセンター 〒248-0001 神奈川県鎌倉市十二所80 イエズス会 日本殉教者修道院

Tel 0467-55-5422　E-mail: info@arrupe-refugee.jp　https://arrupe-refugee.jp

難民の人々を歓迎できる社会に！

世界の難民は8,240万人（2020年末、UNHCR）。コロナ禍でありながら、過去最高を更新しました。2020年1年間で、新たに故郷を追われた人々は約1,120万人にのぼります。

2021年5月、難民を入管施設に収容し、強制送還を可能にする入管法改正案が内外からの批判の高まりをうけて廃案になりました。国連の人権専門家や難民高等弁務官事務所からも「（改正案は）国際的な人権水準に達していない」と廃案、抜本的な見直しを求められていました。

2021年7月、鎌倉市議会は難民政策の見直しを国に要請する意見書を賛成多数で可決しました。意見書の中で、「迫害を受け、命の危機に直面して庇護を求める難民に対して冷たい国や社会は、全ての人にとって冷たい国や社会であると考える」と指摘しています。難民政策に関して、地方議会からの意見書は初めてで、この動きが全国に広がることを願っています。

アルペなんみんセンターは、2020年に開所以来、多くの皆様に支えられ19名の難民を受け入れてきました。難民の人々を歓迎できる社会の実現のために、今後とも困難な状況におかれている難民によりそってまいります。皆様のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

NPO法人 アルペなんみんセンター事務局長　有川 憲治

世界難民の日「アルペ・スペシャルライブ 2021」報告

毎年6月20日は国連が定めた「世界難民の日」です。全世界で様々なイベントが行われます。入居している難民に相談したところ、「ライブイベントがやりたい」とのこと。コロナ禍で、対面でのイベントが難しく、オンライン配信で行うことになりました。

5月から準備を始めましたが、仮放免という不安定な立場で、将来のことを考えるのが難しい彼、彼女らにとって一ヶ月も先のイベントの予定を立てて計画的に行動するのは大変でした。2週間前と日にちが迫っても、具体的なイベントプログラムの見通しが立たず、実行できるのかと不安に思いながら広報を始めました。

空気が変わったのは、イベント10日前。発注していたオリジナルTシャツが届いた時でした。色違いのカラフルなTシャツに身を包み、毎週木曜日、自己表現と癒しの目的でおこなっている歌のレッスンで、参加者の愉快で賑やかな雰囲気がやっと出てきたな、と一安心の瞬間でした。

迎えた当日、リアルタイムでは100名を超える方々が、参加した難民のパワフルさに元気をもらったり、難民同士励まし合うメッセージに涙したりしてくださいました。その様子はNHKニュースにも取り上げられ、配信の再生回数はその後一週間で1500件を超えました。これだけ注目を集めたことやいただいたたくさんの反響に対し、達成感を得られ喜んでいる難民の姿が印象的でした。「知ってもらうこと」が第一歩、そんなことをみんなで再認識したイベントでした。

プログラムコーディネーター　及川 いずみ

＊配信した動画は、YouTube「アルペチャンネル」からご覧になれます。右のQRコードからアクセスください。

地域交流・「亀時間」ランチ会 開催

4月27日、鎌倉のゲストハウス「亀時間」で、ランチ会が開催されました。ミャンマー出身のMさんが、母国で人気の「ナンジートゥ」という麺料理を紹介しました。13名のお客様で満席となり、日本ではなかなか食べることができないミャンマーの家庭料理は、皆様に大好評でした。

食を通してミャンマーの文化と出会い、Mさんとの出会いを通して日本に暮らす難民の状況について知り、語り合う機会となりました。今まで難民について知らなかった地域の方々も、Mさんやアルペを応援してくだっている方々とつながり、地域の交流が広がりました。

Mさんも「知らないお客様に自分の作る料理をお出しするのは初めて」と、当日まで何度も試作を繰り返し、完成度の高い美味しい「ナンジートゥ」を紹介することができ、Mさん自身の喜びにもなりました。

このランチ会で新たに出会った方どうしの交流も始まっています。「亀時間」のオーナーの方からも、「次回の企画も楽しみ」とお声がけをいただきました。

アルペでは今後も、地域の方々と難民の出会いと交流の場をつくり、「難民を友人として迎え入れる地域づくり」を進めていきます。

地域連携コーディネーター　漆原 比呂志

小さな奇跡がいっぱい！

「玉ねぎを買ってください」との入居者の願いの声に「でも注文しなくてもだいじょうぶ」と、心の中で思いながら「神様、必要なものをお与えください」と祈りました。翌日、玉ねぎが他の野菜と一緒に届けられました。こうした小さな奇跡は、ここアルペなんみんセンターでは日常的に起こります。

次は、お菓子作りが大好きな５歳の女の子Ｍちゃんの身の上に起こったことです。ある時、ホットケーキミックスを使って焼ドーナッツが作れる機械が届きました。翌日、ホットケーキミックスが届けられ、その翌日に、一緒に焼いてくれるボランティア女子高生Ｋさんが来てくれることが決まりました。

Ｋさんは昨年度、遠隔授業などで自宅にこもりがちな生活の中で、お菓子作りに取り組んでストレスを発散していたとのこと。Ｍちゃんのために、去年の１年があったのかと驚いていました。もちろん、Ｍちゃんも大喜びです。Ｋさんが来ないときも、Ｍちゃんは私のそばでホットケーキを焼いたり、蒸しパンを作ったりと腕前をあげています。これらは、多くの皆さんの支えによって起こる奇跡なのです。

調理担当　Sr. 津田 和加子
コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会

もっと知りたい
難民のこと

おすすめ映画

はじめてのおもてなし

2016 年、ドイツ

DVD, ブルーレイ発売中。Amazon Prime Video 等でオンライン視聴が可能。

おすすめ書籍

ある日の入管

~ 外国人収容施設は“生き地獄”~

織田朝日著、扶桑社、2021/2

ご支援ありがとうございました！ ＊ 2020 年度は 450 件のご寄付をいただきました。

単位：円

収入の部			支出の部		
科目	2019 年度決算	2020 年度決算	科目	2019 年度決算	2020 年度決算
寄付金	300,000	20,600,812	支援費	0	1,514,144
			水道光熱費	0	1,291,162
会　費	140,000	210,000	消耗品費	18,448	2,014,648
			通信運搬費	3,102	355,239
助成金	200,000	0	印刷製本費	0	389,044
			広告宣伝費	0	196,800
その他の収益	0	9,270	車両費	0	125,498
			施設維持管理費	0	1,868,309
			人件費・謝金	0	281,023
			その他事業費	41,690	346,003
			管理費	75,056	390,148
収入の部 合計	640,000	20,820,082	支出の部 合計	138,296	8,772,018

＊ 2019 年度は、2020 年 2 月 5 日～ 2020 年 3 月 31 日です。2020 年度は、2020 年 4 月 1 日～ 2021 年 3 月 31 日です。
＊ 施設等受入評価、ボランティア受入評価は除いています。
＊ 2021 年 3 月 31 日現在、次期繰越正味財産額は、12,549,768 円です。
＊ 活動報告・決算の詳細は、ホームページでご覧いただけます。

■ 出張なんみんセミナー開催中！

難民のことをもっと知って欲しく「出張なんみんセミナー」を実施しています。オンラインでの開催も可能です。詳細は、事務局にご連絡ください。

（2021 年実績）

1月　鎌倉泉水教会
4月　鎌倉芸術館（共催：SDGs 活動支援センター / 鎌倉ユネスコ協会）
5月　カトリック雪ノ下教会
6月　上智福岡中学高等学校
　　東京外国語大学 ボランティア活動スペース VOLAS

■ 物品寄贈のお願い！

下記のものを集めています。ご協力をお願いいたします。

- □ 衣類（夏物）　T シャツ、短パン、下着、靴下
- □ タオル、せっけん、歯ブラシ
- □ スーツケース、リュックサック、カバン
- □ 未使用切手、未使用はがき、書き損じはがき
- □ ノート PC …日本語学習、本国との連絡のために使わせていただきます。

■ ボランティア募集中！

＊新型コロナウィルス感染症の感染拡大防止のため、当面の間、神奈川県在住の方に限定させていただきます。見学大歓迎、駐車場もあります。ご希望の方は、事務局までご連絡ください。

・草刈り、清掃ボランティア

毎週月曜日
10:00 ～ 12:00
13:30 ～ 15:30

・農作業ボランティア

第2、4土曜日
10:00 ～ 12:00

・建物メンテナンスボランティア

随時、壁紙の補修、網戸の張替等

NPO 法人 アルペなんみんセンターとは？

設立 2020 年 2 月 5 日

迫害から逃れて来日した難民の支援センターです。日本にも毎年、一万人を超える難民が来日しています。母国での迫害の傷を癒し、地域社会へ定住するため日本語の習得、日本文化の理解、自立に向けた支援を行っています。

・難民の定住サポート
シェルターの提供 / 日本語・日本文化を学ぶ場の提供
難民認定申請手続支援 / 通訳翻訳支援 / 就労支援

・難民と日本社会をつなぐ
難民の社会参画支援 / 難民セミナー
イベントの実施

・国内外の難民支援団体とのネットワーク

■ 法人役員 / 事務局職員

理事長
榎川 勝也　元認定 NPO 法人国連 UNHCR 協会常務理事 / 事務局長

理事
有川 憲治　NPO 法人移住者と連帯する全国ネットワーク理事
小山 英之　NPO 法人なんみんフォーラム代表理事 / 上智大学教授
杉本 大輔　全国難民弁護団連絡会議 事務局
津田 和加子　コングレガシオン・ド・ノートルダム修道会
山本 菜奈　NPO 法人 WELgee

監事
平石 博俊　平石博俊税理士事務所 所長
本田 涼子　臨床心理士、日本プレイセラピー協会理事

事務局長
有川 憲治　宅地建物取引士 / 賃貸不動産経営管理士

事務局職員
漆原 比呂志　地域連携コーディネーター
及川 いずみ　プログラムコーディネーター
金山 重之　情報発信事業 / 事務担当
津田 和加子　調理担当、管理栄養士
レニー トレンティーノ　カウンセリング担当
山崎　恵　法人事務担当

■ ご支援ください！

アルペなんみんセンターは、寄付で運営されています。皆様のご支援をお願いいたします！

郵便振替口座 00250-6-107205　NPO 法人アルペなんみんセンター

ホームページから、クレジットカードでのご寄付が可能です。右の QR コードからアクセスください。